

令和4年度 第2回幼児教育研究推進委員会 会議録

開催要領

1. 開催日時:令和4年11月8日(火) 15:30~17:00

2. 会場:久留米市幼児教育研究所 大会議室

3. 参加者

	代表	職名	氏名	所属	出欠
1ブロック	小学校	校長	納富 久美子	水縄小学校	欠
	保育園(私)	園長	山内 享子	船越保育所	欠
	保育園(公)	園長	佐々木順子	田主丸保育所	出
	幼稚園	園長	恵利 浩明	巨瀬川幼稚園	出
2ブロック	小学校	校長	山浦 健	山本小学校	出
	保育園(私)	園長	草場 慎一	大橋保育園	欠
	保育園(公)	園長	杉 恵子	善導寺保育園	出
	幼稚園	主任	山下 順子	北野おおぞら幼稚園	欠
3ブロック	小学校	校長	松本 良一	御井小学校	出
	保育園(私)	園長	伊藤 光恵	高良内保育園	出
	保育園(公)	園長	塚本 貴子	白峯保育園	出
	幼稚園	園長	江頭 渡	合川幼稚園	欠
4ブロック	小学校	校長	小西 郁美	京町小学校	出
	保育園(私)	園長	古賀 あゆみ	わんぱく保育園	出
	保育園(公)	園長	寺崎 美穂	松柏保育園	欠
	幼稚園	園長	早川 成	久留米天使こども園	出
5ブロック	小学校	校長	石橋 豊裕	津福小学校	出
	保育園(私)	園長	木戸 保子	鳥飼保育園	出
	保育園(公)	園長	中村 智恵子	荒木保育園	出
	幼稚園	園長	田中 和博	津福今幼稚園	出
6ブロック	小学校	校長	田中 昇	犬塚小学校	出
	保育園(私)	園長	富安 三千代	西牟田保育園	出
	保育園(公)	園長	末永 由美	犬塚保育園	出
	幼稚園	園長	市川 良美	城島すみれ幼稚園	出
教頭会	会計監査		西見 弘美	弓削小学校	欠
事務局	所長		黒木 厚子	幼児教育研究所	出
	指導主事		松尾 訓子	幼児教育研究所	出
	主事		小倉 洋子	幼児教育研究所	出

出席 21 名 欠席 7 名

4. 日程

- (1) はじめのことば【杉副委員長】
- (2) 委員長あいさつ【松本委員長】
- (3) 報告【進行:早川副委員長】
 - ①各ブロックの取組の進捗状況について
 - ②報告書「様式3」について
- (4) 協議【進行:松本委員長】
 - ①幼保小合同研修会について
 - ②啓発誌『にじのかけ橋』について
- (5) 諸連絡【事務局】
 - ①今後のスケジュールの確認
 - ②合同研修会の出欠のとりまとめのお願い
 - ③福岡県教育庁から「幼児教育・保育促進に資するプラットホーム」のお知らせ
- (6) おわりの言葉【杉副委員長】

5. 会議の要旨

(2) 委員長のあいさつ

- ・コロナ禍で感染対策を徹底しながら可能な教育活動に尽力されていることへの敬意
- ・本日の会議の主旨

(3) 報告

①各ブロックの取組の進捗状況

はじめに	進行から:「接続カリキュラムの素案構築」としての協議が各ブロックでなされ、R5 年度の「カリキュラムの作成・試行」へ結びつくといふ。
1 ブロック	夏に第1回の担当者会を実施した。実践を写真やビデオでまとめており、12月の第2回担当者会に持ち寄る。
2 ブロック	9月5日に集合形式で第1回の担当者会を実施予定だったが、コロナの感染状況と台風到来で紙上提案となった。子どもの育ちの姿を見取ることを共通理解している。様式3を作成して、できる限り映像資料を作って11月11日の第2回の担当者会に持ち寄る。
3 ブロック	第1回はコロナの感染状況と働き方改革の点から書面開催とした。12月5日に第2回の担当者会を実施する。「10の姿」が分かる映像資料と説明資料を持ち寄り、ビデオカンファを行い、「10の姿」からの育ちを協議する。
4 ブロック	第1回の担当者会で京町小学校、金丸保育園、聖母幼稚園の実践をビデオカンファで協議すると決定した。11月22日に第2回の担当者会を実施する。
5 ブロック	コロナの感染状況により、延期していた第1回の担当者会を11月14日に実施する。教育課程上のカリキュラムをつなぐため、1,2年生の学習指導要領の内容を共有する取組を行う。

6ブロック	テーマは「遊びから学びへの発展」、「生活の場と学びの場での人間関係」。12月中旬に第2回の担当者会を実施予定。12月3日にブロックの推進委員で協議する。
総括	進行から：コロナ禍で状況が厳しい中、どのブロックも進んでいることは確かだ。可視化、具現化して互いに分かるように取り組むことができている。

②報告書「様式3」

- ・育ちの意味づけや学びの意味づけを「10の姿」と結び付けて作成する。
- ・意味づけの欄は増減して構わない。

(4)協議

①幼保小合同研修会

- ・1月31日(火)14:30～久留米市環境交流プラザ大会議室で、集合形式で開催する。コロナの感染状況によってはハイブリット形式もあり得る。
- ・各ブロックの実践発表については、全ブロックが発表する案①で進めるが、ハイブリット形式になった場合は、代表ブロックが発表する案②でも良い。講師とも打合せをし、講話時間等との兼ね合いで決定する。

②啓発誌『にじのかけ橋』の見直し

- ・「知りたい情報が分かりやすく掲載されているか」「読んでもらえるものか」の観点から、ページ量、書式、形態(冊子、リーフレット等)、電子化等への変更について協議した。

ページ量

*Q&A には一般化できないものが多い。記載されていることが「正しい」「してもらえると」思って、かえって不安、不信につながることもあるので、一般化できるものだけに絞る。

書式

- *横書きの方が読み易いという保護者が増えている。
- *QRコードの利用も効果的。
- *外国籍の保護者が多いので、ルビは残すべき。
- *市の刊行物には読み上げ機能が付いていることが多いが、その機能を付ければ「ルビ」が不要になる。
- *可能ならカラーがよい。

形態

- *要点をまとめたダイジェスト版を紙媒体で、詳細に書かれている現行の冊子版を電子媒体にしてはどうか。
- *コロナ禍前は卒園前の懇談会で読み合わせを行っていた。紙は必要。
- *保護者はQRコードを上手に活用している。職員の「配布する」という手間を省くこともでき、電子化に賛成。

- ・保育園や幼稚園に、読み合わせの時間を設定するように要請し、配布するだけにならないようにしてもらわなければならないか。
- ・今回出た意見を、R5年度版に反映することは、時間の関係上困難であろう。「にじのかけ橋」についての検討は、第2回推進委員会ではなく、第1回推進委員会で検討するとよい。
- ・すぐに反映できる点は、R5年度版に生かす。